

企画展

北海道立アイヌ民族文化研究センター  
小樽市総合博物館  
せたな町教育委員会

やま だ ひで ぞう  
**山田秀三の地名研究から**

**2010年**……小樽/せたな

◆ **小樽市総合博物館 運河館** (小樽市色内2丁目)

8月28日(土)▶10月3日(日)

● 開館時間 9:30~17:00 ● 休館日 なし

※博物館常設展の入場料が必要です。

(一般300円、高校生・市内在住の70歳以上の方150円、中学生以下無料)

\*\*各種割引、共通入場券もあります。詳しくは裏面をごらんください。

◆ **せたな町 情報センター** (せたな町北檜山区北檜山)

9月11日(土)▶9月26日(日)

● 開館時間 10:00~19:00

● 休館日 9月13日(月)、21日(火) ※入場無料

関連事業

[小樽市]

講座(展示解説) 8月28日(土) 14:30~16:00

**山田秀三文庫の小樽・積丹地方の  
地名調査資料について**

小樽市総合博物館運河館(展示会場内)

● 講師 アイヌ民族文化研究センター職員

講演会 9月4日(土) 14:30~17:30

**小樽・後志からアイヌの歴史と文化をみる**

小樽市運河プラザ(小樽市総合博物館運河館隣接)

● 講師 佐藤知己氏(北海道大学教授)、田島佳也氏(神奈川大学教授)

お話と公演 9月18日(土) 14:30~16:00

**忍路の鯨漁歌(忍路の鯨漁歌実演)**

小樽市総合博物館運河館中庭

● お話 須摩トヨ氏(元忍路鯨場の会顧問)・三浦一郎氏(忍路鯨場の会会長)

● 公演 忍路鯨場の会

[せたな町]

講演会 9月11日(土) 14:30~17:30

**せたなから、地名・歴史・文化を考える**

せたな町民ふれあいプラザ(せたな情報センターから徒歩3分)

● 講師 高木崇世<sup>たかき たかし</sup>氏(アイヌ語地名研究会)、桜庭 博<sup>さくらば ひろ</sup>氏(せたな町文化財保護委員)

本田優子<sup>ほんだ ゆうこ</sup>氏(札幌大学教授)、佐々木利和<sup>ささき りわ</sup>氏(北海道大学教授)

\*上: 国土地理院25,000分の1地形図「小樽東部」「小樽西部」「余市」の3枚を貼り合わせ、山田秀三が文献上の地名や現地調査の記録などを書き込んだもの。(北海道立アイヌ民族文化研究センター所蔵山田秀三文庫 [YP0512])

\*中: 国土地理院50,000分の1地形図「瀬棚」に文献上の地名や現地調査の記録などを書き込んだもの。(山田秀三文庫 [YP0539])

\*下: 「太櫛川川筋図」。幕末~明治初年の作とされる。せたな町内を流れる太櫛川の川筋を描いた絵図。(山田秀三文庫 [YP0501])

\*右: 室蘭・チャラツナイの海岸に立つ山田秀三。(1960年2月撮影。山田秀三文庫 [YP1305-008-19])

アイヌ語地名を歩く

◆ 主催:北海道立アイヌ民族文化研究センター (011-272-8801) / 小樽市総合博物館運河館 (0134-22-1258) / せたな町教育委員会 (0137-84-5111)

◆ 協力:北海道大学アイヌ・先住民研究センター

# アイヌ語地名を歩く

## 山田秀三の地名研究から 2010 小樽／せたな

地名は、地域の歴史と文化をさまざまなかたちで反映しています。その地域に暮らす人々にとってはもっとも身近な存在の一つであり、その地域を訪れる人々にとっては地域を知り、親しむ手引きにもなります。

北海道の地名の多くは、アイヌ語に由来しています。これらのアイヌ語地名について知ることは、地域の歴史、北海道の歴史を学ぶことを通して、アイヌの歴史と文化を理解していくとぐちとなります。

当研究センターが所蔵する「山田秀三文庫」は、アイヌ語地名研究の第一人者である山田秀三氏（1899～1992）が遺した、アイヌ語地名に関する他に類を見ない貴重な資料であり、各地の地名に関する資料が豊富に含まれています。

そこで、当研究センターでは、山田秀三文庫の資料をわかりやすく親しみやすいかたちで紹介する企画展「アイヌ語地名を歩く—山田秀三の地名研究から—」を、道内各地で、順次開催していくことにいたしました。

今年度は、この企画展を、小樽市とせたな町で開催します。



小樽・若竹町付近の地名調査の記録より。([YF0511])



地名「歌棄」に関する調査記録より。  
左：小樽・銭函付近の「歌棄」の調査記録。  
([YF0511])／右：積丹町・転多の「歌棄」。  
([YP1406-001-32])



「小樽内」に関する調査記録より。  
([YF0512])

### 【山田秀三氏の略歴】

1899（明治32）年東京生まれ、東京帝国大学法学部を経て農商務省、商工省等に勤務、1945年退官。

1949年から北海道曹達株式会社設立時に請われて社長となる。のち会長、相談役を歴任。

1941年に着任した仙台鉱山監督局長時代に東北の地名に関心をもち、戦後は、自ら「道楽」と称して東北・北海道のアイヌ語地名を調査した。

金田一京助氏の薫陶を受け、知里真志保氏、久保寺逸彦氏と交友関係を持ち、アイヌ語にも深い知見を有していた氏の研究は、既存の文献や地図を徹底的に調べ、その上で現地を確認していくという実証的な研究方法を確立し、アイヌ語地名研究の水準と蓄積を大きく前進させた。

著書に『アイヌ語地名の研究 山田秀三著作集』、『北海道の地名』などがある。



小樽・「忍路鯨場の会」で挨拶する山田秀三。([YP1405-074-06])

展示では、山田氏が用いた地図、現地で撮影した写真、それらをまとめた記録などを使って、山田氏の地名調査のあとをたどっていきます。

それぞれの会場ごとに、開催地である小樽市・せたな町それぞれに関連する資料を多く紹介します。

また、小樽市では、山田氏が関心を持ってその記録と保存に取り組んだ、忍路の鯨漁歌に関する資料を紹介するコーナーを設けます。せたな町では、山田秀三文庫の中に残されていた、太櫓川の古い絵図を展示するとともに、秋田県にかほ市象潟に残されていた、せたな地方の資料を紹介するコーナーなども設けます。

期間中には、それぞれの会場で、アイヌ語地名やアイヌの歴史に関連する講演会を開催するとともに、忍路鯨場の会の皆様に鯨漁歌を実演していただく機会も設けました。

多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

### 小樽市総合博物館 運河館

〈小樽市色内2丁目〉

- 開館時間 9：30～17：00
- 会期中は無休です。
- 博物館常設展の入場料が必要です。  
一般300円、高校生・市内在住の70歳以上の方150円  
中学生以下無料

※団体利用（20人以上）の方は2割引です ※身体障害者手帳などお持ちの方、およびその介護者の方は無料です  
【共通入場券】運河館と本館の両方に入館できます（2日間有効）一般500円、高校生・市内在住の70歳以上の方250円 【年間パスポート】運河館と本館に何度でも入館できます（1年間有効：この企画展終了後も有効です）  
一般1000円、高校生・市内在住の70歳以上の方500円

### せたな町 情報センター

〈せたな町北檜山区北檜山〉

- 開館時間 10：00～19：00
- 休館日 9月13日（月）、21日（日）
- 入場無料。

